

# 英国最大級の国際酒類見本市「Imbibe Live 2019」

## 英国最大級の国際酒類見本市

英国最大級の国際酒類見本市「Imbibe Live（インバイブ・ライブ）2019」が7月1日～2日、ロンドンのオリンピア・エキシビション・センターにて開催されました。

今年で10回目を迎えた本見本市は、英国の飲料業界専門メディアが主体となり、英国全土のバー、レストラン、ホテル業界のオーナー・マネージャーから、現場を取り仕切るバーテンダーやソムリエまで、幅広い分野から様々な職種の来場者が集まります。展示会場では飲料業界の最新トレンド、ブランド、ビジネスチャンスが紹介される他、テイस्टイング、セミナーといった様々なエデュケーショナルプログラムが充実しているのが特徴です。

【7月1～2日にロンドン オリンピア・エキシビション・センターにて開催された国際酒類見本市「インバイブ・ライブ 2019」】



## 日本産酒類プロモーションブース

ジेटロと国税庁は、昨年につき2年連続でこの酒類見本市「Imbibe Live 2019」に、「日本産酒類プロモーションブース」を出展しました。当該ブースには、酒類事業者18社（日本酒10社、焼酎・泡盛・ジン5社、リキュール2社、ワイン1社、）が出品しました。

【ジेटロと国税庁が出展「日本産酒類プロモーションブース」】



出品した18社からは、日本酒や焼酎、泡盛、梅酒、日本産ワイン、ジンなどを紹介。バーカウンターも設置され、バーテンダーにより日本産酒類を使ったカクテルの試飲や、琉球泡盛のセミナーもおこなわれました。

ロンドンでも人気のあるクラフトジンを出品する企業も4社あり、マーケットを意識した出品に、多くの来場者で賑わいました。

【「日本産酒類プロモーションブース」出品者一覧】

企業名	出品内容	都道府県
土田酒造	日本酒	群馬県
アイディーテンジャパン	日本酒・焼酎・梅酒	東京都
オシアナス・ヴィンナーズ	ワイン・日本酒	東京都
日本酒類販売	ジン・泡盛	東京都
月桂冠	日本酒	京都府
黄桜	日本酒	京都府
チョーヤ梅酒	梅酒	大阪府
田治米	日本酒	兵庫県
明石酒類醸造	日本酒・ウイスキー・ジン	兵庫県
たなか酒店	日本酒	兵庫県
プリアトアソシエイツ	リキュール	鳥取県
土佐酒造	日本酒	高知県
ワイエスフード	日本酒・焼酎・梅酒	福岡県
三和酒類	焼酎	大分県
京屋酒造	焼酎・ジン	宮崎県
Blueship沖縄	泡盛	沖縄県
まさひろ酒造	ジン・泡盛	沖縄県
全農インターナショナル欧州	日本酒	英国

（ジेटロ HP より当事務所作成）

ロンドンでの日本産酒類プロモーション

昨年の「Imbibe Live 2018」での「日本産酒類プロモーションブース」出品企業の商談件数は 809 件、うち見込み分含めた成約件数は 356 件、金額ベースで 8,139 万円の成果が上がったと、国税庁は発表しています。

【昨年は延べ 1 万人超が来場した「Imbibe Live」】



英国・ロンドンでは、「Imbibe Live 2018」での「日本産酒類プロモーションブース」のほかにも様々な日本産種類を普及させるイベントがおこなわれています。

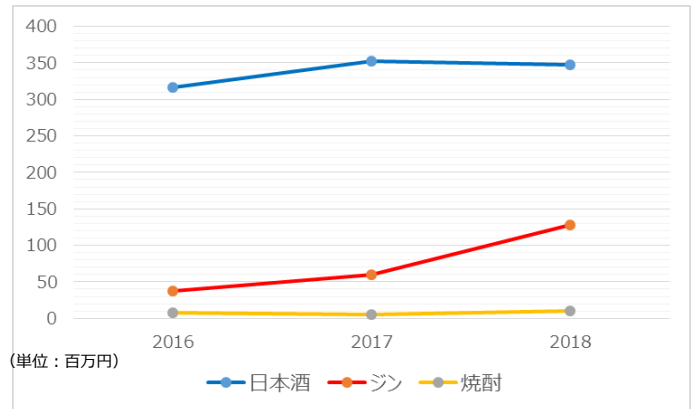
今年、2月21日～23日には、日本の魅力を発信する拠点ジャパンハウス・ロンドンにて、日本酒のPRイベントが開催され、2月22日～3月3日には、ジェトロのJFOOD事業として、ロンドンのイベント参加飲食店が期間限定メニューに対して日本酒1杯を無料提供する「SAKE WEEK」も実施されました。

ロンドン世界的な酒類の情報発信都市で、「インターナショナル・スピリッツ・チャレンジ（ISC）」や「インターナショナル・ワイン・チャレンジ（IWC）」などといった国際的な酒類の品評会が開催され、IWCでは2007年より「Sake部門（日本酒）」も開かれて、日本産酒類の知名度は向上してきています。

英国で日本産ジンの人気上昇中

英国へ輸出される日本産酒類のトップはやはり日本酒で、2018年度はおよそ3億4,700万円相当が輸出されました。日本酒がやや伸び悩む中、ここ数年、輸出量が急増しているのが、「ジン」です。

【日本産「ジン」の英国向け輸出額の推移】



(財務省貿易統計より当事務所作成)

2016年度のジンの英国向け輸出額は約3,800万円でしたが、2017年度には約6,000万円(+58%)、2018年度には約1億2,800万円(+113%)と大きく増加しています。

英国では2008年に蒸留所「シップスミス」がロンドンに創業、約200年ぶりにロンドンで銅製の蒸留器が稼働したことで大きな話題を呼び、英国全土にクラフトジンブームが起こりました。当時12ヶ所しかなかった蒸留所は、この10年で450超に増えたといえます。クラフトジンブームは英国から世界へと拡がり、日本でもクラフトジンが注目されるようになりました。

最近では日本の大手ビールメーカーに加え、全国の日本酒や焼酎、泡盛のメーカーがクラフトジンを製造・販売し、海外へ輸出も大きく増加するにいたっています。

「クラフトジン」ブームの火付け役である英国へ、日本産ジンがどこまで広まるか期待したいと思います。以上

本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客さまご自身でご判断くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。本レポートは信頼できると思われる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願いいたします。